

おじゃましま～す

栄町立栄中学校職場体験
中学生広報班 NO2

始めてみよう！！

♪ポレ・ポレ♪

誰でも自由に参加できるボランティアをつくるという目的で、「ポレ・ポレ」ができました。ポレ・ポレとはスワヒリ語で「ゆっくり行こうよ!」という意味で使用済み切手を集めてユニセフ募金につながる活動をしています。会員は7名で平成15年10月から始まりました。

今回は、10月17日の住民活動ふれあいまつりに向けてフェアトレードの商品販売準備をしていました。フェアトレードは貧しい生活をしている世界の人々が作った小物・お菓子などを売って、売れたお金で作った人々を支援しています。

使用済み切手は集めて買い取り業者に送ると、世界の子供達のために使われます。「ポレ・ポレ」は6年間続けて17,1kg、募金金額は8550円にもなったそうです。会員の方達にお話を聞くと、「無理はしていない」「人のためにやりたい」「楽しくできる」「色々な切手が見れる」と笑顔で言ってくれました。

取材して私は、切手集めをして人のためになることをしたいと思いました。皆さんも使用済み切手があったら捨てずに、寄付してください。

取材 奥秋【栄中2年】



ネパールの手織り布のハギレからできたアイピロー



小粒大豆からできた豆菓子「こつぶちゃん」
フライピンのマスコバド糖
かりんとう

住民活動支援センターを通して、自分のあまり知らない地域で、新しい事を学んだり、自分の町をもっと深く知ることが出来ました。この体験を日常生活に活かしていきたいと思いました。(小林 加帆)

職場体験感想



【取材現場にて】

私は2日間体験して、取材はとても緊張しました。でも、ポレポレと水神社のことが良くわかりました。それをパソコンで原稿にまとめる事と、色をつける事がとても大変でした。でも良い経験になったし、とても楽しかったです。(奥秋 亜美)



【金子さんに取材中】

10月14日(木)15日(金) 栄町立栄中学校の2年生女子2名が支援センターで職場体験をしました。住民活動ふれあいまつりを目前にひかえ、あわただしい中での2日間でしたが、支援センターだよりの紙面を担当し、取材・原稿づくり・パソコン入力などを行いました。仕事としての大変さと楽しさを体験でき、また布鎌地区を初めて訪れ、栄町の歴史を知るいい機会になったと思います。

団体の皆さん、早稲田大学院生の金子さんありがとうございました。